

リイド社

八月薫全集



第5卷 「高嶺の花びら」

EP01
憧れの女性



八月薫全集 第5巻

「高嶺の花びら」

contents

憧れの女性……3

堀の向こうの奥様……19

初めての秘め事……35

憧れのネエさんの膣……51

猥褻キュレーター……67



本当にあったHな体験教えます











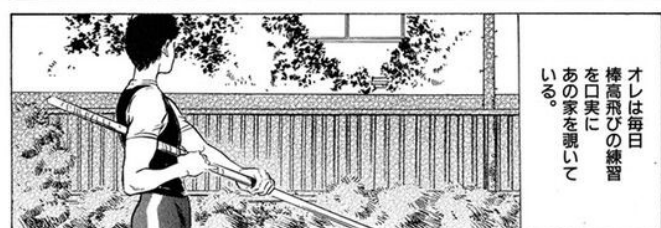




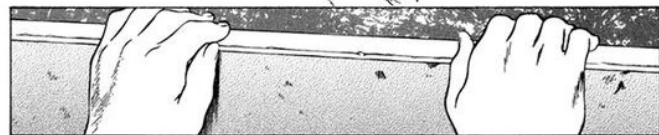
EP02
塀の向こうの奥様



EP01 / END



塀の向こうの奥様













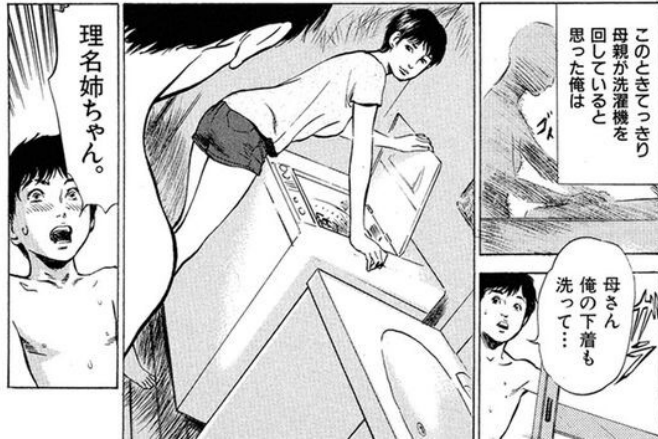
EP03
初めての秘め事



EP02 / END

初めての秘め事





初めての秘め事



初めての秘め事











EP03 / END





ネエさんの
婿養子は
サラリーマン
でした

なので 平日は
ネエさんとネエさんの
両親が農園の
仕事をしていました

俺は休みの最終日
ネエさんの農園を
手伝いました
そして収穫した
早生みかんを
選果場に運ぶため

俺がドライバーを
買って出たんです

ありがとう
坊ちゃんに
手伝ってもらって
助かるわあ

いえ
これくらい

ただ ネエさんと
2人きりになれる
時間が欲しかった
だけでした

2人きりになった
からといって
人妻のネエさんに
今更どうにか
できるわけでも
ないんですが

そうかー
坊ちゃんも
社会人なんだ
ねー

ネエさん
その坊ちゃん
での
やめてくれ
よ...

フッフ
こめん

ただ

汗でシャツが張り付いた
その大きなオッパイを
チラ見してはドキドキ
していました

シートベルトでより強調
されてブラも薄ら
透けて見えたんです

見すぎて
一瞬事足りそう
になりながらも

せめてネエさんの姿
をスリネクと
チ○コを半勃ちに
しながら脳裏に
焼きつけていたん
です

選果場に
みかんを搬入
し終わり

後片付けのため
再び農園に
戻ることになっ
たんです

坊ちゃん
休憩に
しない？

はい

一通り片付き
木陰で休憩を
しました

これだけ長い時間
ネエさんといえるのは
久しぶりで

あー
疲れた

それだけに...
俺の休みも今日が
最後だと思つて
名残惜しくて

自分の思いだけでも
伝えようか...

そんなことを
考えているうち

なんとネエさんはその場で
眠り込んでしまったんです

農園には
俺たち2人だけ
しかいないって...

その無防備な
ネエさんの姿に
ドキドキして...





EP05 猥褻キュレーター















ぐはうあああ

うう

ついに
彼女のアナルへ
想いの丈と共に
注ぎ込んだんです

ジババ

俺の精子にまみれた
彼女の股間を見た時

この上ない満足感に
包まれました

翌日片付けの後に
彼女は旦那が待って
いるであろう家へ
帰りました

それ以来彼女とは
連絡を取っていません

お互いのためにそうした
とはいえ 思い出すと
少しせつなくなる体験です